

(3) 第3号議案 平成30年度事業計画及び収支予算

事業計画書

- 1 名称 長府東部地区まちづくり協議会
- 2 実施期間 平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日

3 事業の概要

<p>長府東部地区まちづくり協議会は、組織の運営と次の活動を行う事業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・地区の課題、情報等を共有するための広報に関する活動・地区の健康づくり、防犯、防災、きれいなまちづくり等の課題の解決に関する活動・地区の子育て支援、世代交流、幼保小中の連携の課題解決に向けた共助に関する活動・地区内外における地域交流に関する活動・地域の特性である地域資源の活用に関する活動・認知症になっても安心して暮らせるまちづくり活動・災害弱者の要援護者登録制度の運用に向けた活動・まちづくり計画策定委員会の発足・活動
--

4 事業の実施計画

実施時期	事業内容	備考
4月22日 年12回	まちづくり協議会通常総会 運営委員会開催	長府東公民館
年6回 適宜	「長府東まちづくり」広報、活動内容と情報発信 ホームページ維持・管理	長府東公民館
6月	美化美化大作戦 交通安全講習会	地域全体 長府東公民館
7月 7月	ふるさと祭り 名作映画劇場	長府小学校 長府東公民館

8月	きれいなまちづくり事業 (親子ふれあい作業) まちづくり研修会	長府小学校 長府東公民館
8月	健康づくり事業(料理教室)	長府東公民館
9月	防災講習会 花とこころのまちづくり	長府東公民館 長府東公民館
10月	長府企業フェスタ 昔の長府を歩こう事業 健康づくり事業(転倒防止他)	ボートレース 下関 長成校区 長府東公民館
11月	文化講演会事業 長府東部地区文化祭 (地域住民の文化交流、まち協合唱団発表会)	長府東公民館 長府東公民館
12月	スポーツ・リクレーション事業	長府体育館 長府運動場
1月	親子ふれあい事業(新春凧揚げ等)	長府扇町
2月	花とこころのまちづくり(お花の教室) 四王司山登山道整備	大藤園 長成中学校 四王司山道
3月	認知症フェアin長府2019 健康づくり事業(料理教室) 花とこころのまちづくり	長府東公民館 長府東公民館 長府東公民館
年4回 年1回	認知症サポーター養成講座 認知症講座及び模擬訓練	長府東公民館 長府東公民館 訓練自治会
年4回	災害弱者要援護者登録制度の運用に向けた活動	長府東公民館

(注) 枠内に収まらない場合は、任意の様式で別紙を作成して添付すること。

部会・事業別活動計画

1 名称 長府東部 地区まちづくり協議会

2 実施期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

3 活動計画

区分	事業名	事業の目的及び概要	実施時期	予算額 (円)
全体事業	まちづくり研修会	講演会、ワークショップの開催	年1回	30,000
	ふるさと祭り	小、中学と地域合同の祭り	7月	250,000
	企業フェスタ	企業と地域住民の連携	10月	70,000
	文化祭	公民館学習・芸能発表 幼保小中の参加 バザー、地域住民参加	11月	82,000
つたえよう部会	広報誌発行	活動の情報発信	年6回	70,000
	HP管理	活動内容の情報発信	随時	30,000
	まち協合唱団	合唱練習 発表会	毎月 文化祭他	13,000
つくろう部会	交通安全講習会	小学校と地域連携	年1回	11,000
	部会全体会議	部会研修活動計画	年6回	5,000
	防犯防災防火事業	地域の安全・安心対策	年1回	150,000
	健康づくり事業	地域住民の健康づくり	料理2回 健康2回	84,000
	きれいなまちづくり事業	小中学校と地域の交流	年2回	22,000
つなごう部会	花とこころのまちづくり事業	小中学校と地域の交流	年2回	50,000
	文化講演会	小中学校と地域連携	11月	150,000
	昔の長府を歩こう	地域住民の交流	年1回	23,000
	みんなで凧揚げ事業	地域住民の交流	年1回	30,000
	長府卓球、グランドゴルフ大会	地域住民の交流	年1回	30,000
				1,100,000

収 支 予 算 書

名 称 長府東部地区まちづくり協議会

平成30年4月1日～平成31年3月31日

1 収入の部 (単位：円)

収入区分	予算額	詳 細
交付金	2,200,000	
寄付金・分担金		
その他	13	利子等
合 計	2,200,013	

2 支出の部

[運営事業]

(単位：円)

経費区分	予算額	財源内訳		詳 細
		交付金	その他	
賃 金	500,000	500,000	0	@900円×555h(3人分)
旅 費	16,000	16,000	0	35km×37×12月
消耗品費	65,000	65,000	0	事務用品一式
燃料費	0	0	0	
食糧費	20,000	20,000	0	会議のお茶
印刷製本費	0	0	0	印刷・コピー代
光熱水費	0	0	0	電気・ガス・上下水道代
修繕料	0	0	0	
通信運搬費	102,000	102,000	0	切手、電話通信料
手数料	1,000	1,000		振込手数料
保険料	1,000	1,000	0	労働保険料
使用料及び賃借料	237,000	237,000	0	パソコン・プリンター・ 輪転機リース料
工事請負費	70,000	70,000	0	エアコン工事費
備品購入費	88,000	88,013	0	パソコン・机・椅子
負担金	0	0	0	研修参加費
合 計	1,100,000	1,100,013	0	

(注) 枠内に収まらない場合は、任意の様式で別紙を作成して添付すること。

[活動事業]

(単位：円)

経費区分	予算額	財源内訳		詳細
		交付金	その他	
報償費	120,000	120,000	0	講師への謝礼等
旅 費	50,000	50,000	0	講師等の旅費
消耗品費	350,000	350,000	0	用紙、種子、肥料、 替刃等
燃料費	5,000	5,000	0	借用车両の燃料代 草刈り機の燃料代
食糧費	104,000	104,000	0	会議のお茶代 活動の弁当・茶菓
印刷製本費	300,000	300,000	0	広報誌の発行8回 印刷・コピー代
光熱水費	1,000	1,000	0	会場の光熱費
修繕料	20,000	20,000	0	草刈り機点検整備
通信運搬費	20,000	20,000	0	切手・葉書代
手数料	0	0	0	
保険料	30,000	30,000	0	活動事業の保険料
委託料	0	0	0	
使用料及び賃借料	60,000	60,000	0	会場使用料等
工事請負費	0	0	0	
原材料費	40,000	40,000	0	看板材料費、土等
備品購入費	0	0	0	
負担金	0	0	0	
合 計	1,100,000	1,100,000	0	

(注) 枠内に収まらない場合は、任意の様式で別紙を作成して添付すること。

支出合計 (運営事業) 1,100,013 円 + (活動事業) 1,100,000 円 = 2,200,013 円

(4) 第4号議案 役員の選出

長府東部地区まちづくり協議会運営委員会名簿

平成30年4月22日

	役 職	氏 名	所属団体	担 当
1	会長	友松 弘幸	長府東部自治連合会	
2	副会長	岡田 達昌	長府東部自治連合会	(つたえよう部会)
3	副会長	村瀬 秀幸	長府東地区民生・児童委員協議会	(つくろう部会)
4	副会長	菅原 知子	長府婦人会	(つなごう部会)
5	事務局長	竹下 明生	長府東部自治連合会	
6	会計	岡村 重夫	長府東部自治連合会	
7	参与	白澤 真史	下関市立長府小学校	
8	参与	金子 聡	下関市立長成中学校	橋本校長交替
9	監事	森下 博幸	長成校区青少年健全育成協議会	
10	監事	牛島 朗美	長府東部自治連合会 長成中学校学校運営協議会	
11	部会長	鬼頭 辰生	長府東部自治連合会	つたえよう部会
12	部会長	宇内 祐司	社会福祉法人朋愛会	つくろう部会
13	部会長	北村 祐治	長府体育協会	つなごう部会
14	副部会長	小林 緑	長府地域包括支援センター	つたえよう部会
15	副部会長	中野 一穂	長府満寿会	つくろう部会
16	副部会長	佐藤 潔	社会福祉法人 開成会 王司山田園	つくろう部会
17	協力団体	橋本 和洋	長府扇町安全協議会	

(5) 第5号議案 平成30年度まちづくり計画書策定委員会発足（案）

まちづくり計画とは

まちづくり計画とは、地域における、地理的な特性や、自然、産業、歴史、伝統文化、人材、芸術、建物などの地域資源（自慢の要素）や地域にある課題を整理しながら、課題の解決方法や将来像を実現する方法などをまとめたものです。

まちづくり計画の必要性

まちづくり協議会を設立し、地域の身近な課題解決に向けて、地域が一体となって、取り組むためには、住民がまちづくりの中長期的な共通目標を持ち、その実現に向けた取り組みを計画的に実施することが求められます。

住民が、その活動の目標や方向性、実現に向けた取組の優先順位などを共有できるように「まちづくり計画」を策定することが必要です。

まちづくり計画の位置づけ

まちづくり計画は、まちづくり協議会が住民自治によるまちづくりを推進する基本となる任意に策定する計画で、地域住民の総意による中長期的な視点で地域の将来像や地域の自慢、課題を共有した、地区のまちづくりの基本方向となります。

将来的には、市の総合計画等を始め関連する分野別計画との整合性など、住民自治によるまちづくり推進計画に沿った見直しも必要です。

まちづくり計画策定のメリット

①地域が見えてきます

多様な人材、団体等の意見や外部人材、地域サポート職員の外部目線での意見が集約整理できるため、地域課題や地域資源などが見えてきます。

②まちづくりへの参加の動機付けとなります。

策定の過程で、まち歩きやワークショップ等、より多くの方が知恵を出し合うことにより、一人ひとりがまちづくりの主役となる自覚が生まれ、まちづくりに対する理解が深まります。

また、参加の機会が増えることで、地域の顔となり、まちづくりだけでなく、支え合

いの精神が醸成されます。

③まちづくりの効率的な運営に結びつきます

地域にとって優先的に取り組むべきものが整理され、限られた人、限られた時間、限られた財源の中で、効率的なまちづくりに取り組む環境づくりができます。

④地域への愛着感が醸成されます

地域を見つめなおすことで、これまでは感じる事がなかった自慢や課題が見え、自慢については、さらに伸ばそうとする意識、課題については、何とかしないとイケないという意識が生まれ、地域への愛着感が高まります。

⑤人材発掘、人材育成につながります

多くの世代を超えた人材が関わることにより、人材確保の環境が整います。

まちづくり計画策定スケジュール（案）

開催予定日	取組名	概要
	長府東部地区まち協 通常総会	計画策定の承認
	第1回まちづくり計画策定検討会議 (運営委員会)	策定期間について協議
	第2回まちづくり計画策定検討会議 (運営委員会)	策定体制について協議
	計画策定取組開始報告&策定委員公募開始	
	策定委員会/検討チーム発足	
	先進地視察(市内外) △▼市まち協	
	アンケート実施	
	アンケート配布、回収、分析	
	フィールドワーク/ワークショップ実施	
	討論会	参加対象者検討
	第〇回懇談会	
	地域の課題、自慢等の事前調査整理、分析	まちづくり憲章議論
	第1回策定委員会	計画書の構成検討
	第2回策定委員会	ビジョン、目標協議
	運営委員会中間報告	第1回、2回委員会の報告
	第3回策定委員会	分野別の方向性協議
	第4回策定委員会	分野別の活動(事業)協議
	運営委員会最終報告	第3回、4回委員会の報告
	まちづくり計画書内容チェック	
	まちづくり計画書策定(素案)	
	地域の意見聴取のための説明会	
	地域の意見を反映し計画書調整	
	まちづくり計画書完成、印刷	
	市に提出	

まちづくり計画策定委員名簿（案）

平成30年4月22日

所 属	氏 名	勤務先等	連絡先
つくろう部会	富村 義隆	(株) リハビステクラ	248-3536
つなごう部会	柏谷 仁美	副部会長	
つたえよう部会	桶本 健児	アイユー	
長成中教頭	中村 博尚		245-6490
長成中 PTA	弘中 琢巳	副会長	
長成中 PTA	田中富士子	副会長	
長府小教頭	こうだ 江田 良市 りょういち		246-0920
長府小 PTA	武下 伸枝	副会長	
長府小 PTA	田村 雅子	副会長	
公募	村橋 賢明	社会福祉法人開成会 大藤園	245-2215
まち協運営委員	岡田 達昌	副会長	発足時の課題共有
まち協運営委員	菅原 知子	副会長	発足時の課題共有
まち協運営委員	竹下 明生	事務局長	発足時の課題共有
外部講師			

※1. 地域の課題の解決や将来像を実現する方法など、柔軟な思考力や自由なアイデアを求められるため、現役世代中心の委員としたい・・・。

2. 委員長は互選又は指名（発足時話し合い）